

放課後等デイサービス事業所における自己評

事業所名:キッズワンハート 東浦教室

配布数 12人 回収数 12人 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない わからない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	0	0	既定以上の広さで、十分な広さを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	12	0	0	法廷で必要な配置人数以上の児童指導員、指導員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	8	1	玄関の段差等、完全なバリアフリーではありませんが介添えが必要な場合、介添えをさせていただきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	2	0	他の事業所とも連携してミーティングを行っています。すべての職員に周知できるように努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	0	アンケートの意見を参考にして改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	0	公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	2	0	現在、第三者による外部評価は行えていません。今後、機会があれば外部評価を受けて業務改善に繋げていきたいです。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1	0	定期的に研修に参加しています。また、内部研修を定期的に行い職員の資質の向上に努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	保護者様と定期的にあセスメントを行い、ニーズに合わせた計画を職員間で会議を行った上で作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1	0	計画期間ごとにアセスメントをとったうえで、個別支援計画を作成しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0	0	定期的に会議をして、活動プログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1	1	固定化しないように職員間で話し合いをしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12	0	0	学校休業日にしかできない活動を設定しています。(外出、お買い物、調理等)
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	個別活動と集団活動を組み合わせる活動を提供させていただいています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	0	朝礼や昼礼を必ず行い、確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	3	0	気になったことや気づいたことを職員で話し合いをしています。先に帰った職員に対しては、次の日のミーティングで申し送りをしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	1	0	当日の支援内容と利用児童の様子を記録しています。定期的に行うミーティングで議論、共有して支援方法を決定しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	1	0	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	11	1	0	ガイドラインに沿って支援計画を作成し、活動しています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	2	0	児童発達管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	1	0	学校の送迎時に確認させていただいています。学校によっては、保護者さまを通して確認させていただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	4	0	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2	0	必要に応じて直接、保育園や児童発達支援に見学等をさせていただいて、情報の共有をさせていただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5	0	現在、卒業生がいません。今後、ご本人様や保護者様から要望があった場合、行ってきたいと思います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	0	専門機関と相談、連携をとっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	4	0	現在は行っていません。地域の公園で関わらせていただいています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	6	1	現在、参加していませんが、今後、機会があれば積極的に参加していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	0	連絡帳で保護者様とやり取りをしています。必要に応じて、送迎時に伝えたり、電話でお話し、共通理解をしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	4	0	必要に応じてペアトレを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	0	契約時に運営規定・利用者負担額等について説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	0	日ごろから、保護者様との関係を大切にし、相談しやすい雰囲気づくりを心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	5	0	現在、父母会を行っていませんが、保護者様からの要望があれば保護者同士の連携を支援していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2	0	契約時に苦情に対する窓口を案内し適切に対応できるように努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	0	会報の発行はありませんが、イベント企画等はSNS、チラシで発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	12	0	0	個人情報が記載される書類の保管は鍵付きの書庫で管理をしています。破棄書類はシュレッダーで処理しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	0	利用児童様、保護者様の状態に応じて意思疎通に配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	2	0	現在は行っていません。今後、検討していきたいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	2	0	マニュアルを策定し、定期的に研修を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	2	0	マニュアルを策定し、定期的に研修を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	0	0	マニュアルを策定し、委員会を設置しています。定期的に研修に参加し、内部研修も行っていません。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12	0	0	保護者様に説明させていただいています。事前に支援計画に記載させていただいています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	0	0	契約時にアレルギーの確認をさせていただき、適切に対応させていただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	0	ヒヤリハットがあった時には、改善に努められるように職員間で話し合いをしています。書類を作成し、職員間で共有しています。